

抄 録

ふりがな	うじしまいぞうぶんかざいはつくつちょうさほうこくしょだい62しゅう							
書 名	宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書 第62集							
副 書 名	宇治市街遺跡（宇治妙楽55）							
シリーズ名	宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第62集							
編著者名	浜中邦弘・大原瞳・大坪州一郎・田中元浩・表原克代							
編集機関	宇治市歴史資料館							
所在地	〒611-0023 京都府宇治市折居台1-1							
発行者所在地	宇治市教育委員会							
発行年月日	西暦2006年3月31日							
所収遺跡名	所在地	市町村コード	遺跡番号	北緯	東経	期間	面積	調査原因
宇治市街遺跡 （川西地区）	宇治市宇治 妙楽55	26204	108-1	34° 53′ 05″	135° 48′ 25″	040809 ～ 041118	1,300 m ²	集合住宅
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物			特記事項	
宇治市街遺跡	庭園	平安中期	園池、柱穴	土師器、須恵器、瓦器、 下駄、凝灰岩、国産陶磁器 コンテナバット8箱			平安中期の庭園 新発見	
成果要約	<p>宇治市街遺跡は、現在の中宇治地区とほぼ重複する集落遺跡である。過去20回程発掘を実施しており、古墳時代から江戸時代にわたる各遺構・遺物が検出されている。面積は54万m²を測る。</p> <p>調査地は、これまでの中で最も平等院に近くまた隣町が「池殿町」と町名が示すように藤原頼通が崩御した別業「池殿」の想定地であった。</p> <p>調査の結果、調査地南側で園池跡が検出された。池底及び堆積層から土師器皿・凝灰岩片・下駄等が出土した。時期は11世紀中頃に比定され、平等院創建期頃である。土師器皿は平等院出土のものと同胎土・作り・色調において極めて酷似する。史料に散見される「池殿」と同時期に位置付けられ、また『殿暦』に見える池殿の御所から御堂への変遷が遺物の内容やその層位的なあり方からもうかがえる興味深い情報が得られた。平安時代宇治の実相を今後研究・解明していく上で重要な知見が得られたと考える。</p>							

宇治市埋蔵文化財発掘調査報告書 第 62 集
宇治市街遺跡（宇治妙楽 55）発掘調査報告書

発行日 2006 年 3 月 31 日

発行者 宇治市教育委員会

〒 611-8501 京都府宇治市宇治琵琶 33

編 集 宇治市歴史資料館

〒 611-0023 京都府宇治市折居台 1-1

TEL 0774 - 39 - 9260

FAX 0774 - 39 - 9261